



「KYT・ヒューマンエラー防止週間」にあたって

那覇産業保安監督事務所
所長 石川 定 男

鉱山で働く皆様、毎日のお仕事ご苦労様です。

今年も師走の気ぜわしい季節となり、何かと体調管理が必要な時期になりました。各鉱山では災害や事故の未然防止に日々努力していることと存じます。今後も引き続き、災害根絶へ向け努力し、災害ゼロを達成しましょう。

さて、沖縄鉱山保安対策委員会では、12月1日から7日を「KYT・ヒューマンエラー防止週間」として保安運動を展開し、年末の忙しい時期における災害を防止することになりました。

全国の鉱山において、平成17年から平成21年に発生した災害の主原因は、人的要因（作業者の動作・位置・姿勢、規則等の不遵守等）によるものが約7割を占めています。災害根絶には、人的な不安全要素を取り除くことが必要とされます。

鉱山の皆様におかれましては、十分にこの保安運動の主旨を理解されて、それぞれの職場でKYT（危険予知トレーニング）・指差し呼称等の保安運動を実践し、「ゼロ災害」を目標に事故のない安全で楽しい職場を築かれまますよう期待しております。

KYTをしていますか？
指差し呼称ゆびさをしていますか？
「ヒヤリ」「ハット」を報告していますか？
作業手順を遵守していますか？
単独作業者の安全を確認していますか？
不安全行為をしていませんか？
不安全箇所はありませんか？

平成22年12月1日

<平成22年度 鉱山保安標語入選作品より>

『作業手順 慣れと 自信過剰が 事故の元』

新垣 武勇（石垣鉱山）